

令和3年度シラバス (教科・科目: 数学・数学A)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

教科書	学習書・他教材
『新高校の数学A (数研出版)』	『問題演習用プリント (教師作成)』

学習目標	
<p>順列・組合せと確率、平面図計と空間図形について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、楽しく学びながら数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>	

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
○順列・組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 中学で扱った基本的な個数の処理の考え方をもとに樹形図などを用いて、順列・組合せについて理解するとともに、具体的に活用できるようにする。 	○前期中間考査
○確率	<ul style="list-style-type: none"> 中学で学んだ確率の考えを踏まえ、身近にある事例をもとに、不確定な事象の起こる程度について理解を深めて、確率の計算方法について学ぶ。 	○前期期末考査
○平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 中学で学んだ平面図形の基礎知識 (三角形の合同・相似、角の性質、平行線と比など) について復習する。また、それらを発展させ三角形の性質や円周角の性質について学ぶ。 	○後期中間考査
○平面図計 ○空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形 (円の接線・方べきの定理・2つの円) について学ぶ。 簡単な平面図計の作図や空間図形について学ぶ。 	○後期期末考査

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
<p>数学的活動を通して、各単元における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用しようとする。</p>	<p>数学的活動を通して、各単元における数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して、数学的論拠に基づいて判断しようとし、表現する能力を高めている。</p>	<p>各単元において、事象を数学的に考察し、処理する能力を高め、創造性の基礎を培う力を身につけている。</p>	<p>各単元における基礎的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、基本的な知識を身につけている。</p>
<p>総合的評価規準 以上の観点から踏まえ、成績は定期考査の点数を中心に、授業態度、出席状況、夏休み・冬休みの課題の状況、提出物の状況 等から総合的に評価する。</p>			

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> 授業に必要なもの (教科書、ノート、鉛筆、消しゴム、赤ペン 等) を必ず持ってくる。 授業中は、しっかりと「聴く」「考える」「書く」。 出された課題にしっかりと取り組み、提出期限を守る。

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> 計算よりも頭をやわらかく使って物事を考えていく科目です。その内容について興味・関心を持って授業に参加して欲しいと思います。 授業のペースは速く、内容も高度になるため、一回の欠席が大きな負担になります。毎時間しっかり出席をしてください。 定期考査の点数がよくても、普段の授業態度が良くない場合は、悪い評価となります。逆に、定期考査の点数が多少悪くても、普段の授業態度が良ければ、良い評価となります。